



Let's do it now!

2022に向けて誇りを持って All is well.

2020-2021年度
西日本区理事 古田 裕和

ようやく日々暖かくなり、桜の花も一気に開花し各地でお花見に出かけられる方が増えてきたようです。我が家からも六角堂の桜が綺麗に見え心を和ませてくれていました。

3月は第1週目の6日に次期会長主査研修会が大阪コロナホテルを会場とし、ほとんどの方はZOOMで参加するというハイブリッド方式で行われました。次期の理事や主任、部長の方針を理解する絶好の機会だったと思います。また、研修会でもお願いしましたが、各クラブで独自の研修会を催し理事や主任、部長の方針をメンバーに伝えると共に次期のクラブの目標などについて是非語り合ってください。

3月9日は熊本ジェーンズクラブの例会に参加させていただきました。九州部の他クラブからも大勢のメンバーが参加されており、次期熊本YMCA総主事の入会式もありました。

例会は、「新生ワイズ起こし運動 みんなで語ろう！ 私のワイズの愛し方」という内容で九州部新生ワイズ起こし運動委員長の上村眞智子ワイズが事前に「私のワイズの愛し方」というアンケートを多くのメンバーから採って、その結果を基に意見交換をし、みんなでワイズメンズクラブを、自クラブを発展させていくためにどうすれば良いかを語り合った充実した例会だったと思います。アンケートを見たいと思われたら上村ワイズまでお問い合わせください。

3月21日には和歌山YMCAを訪問させていただきました。各地のYMCAでもリーダー卒業の式典を催されていると思います。和歌山YMCAでもこの日リーダー感謝祭が行われました。感謝祭にも参加させていただき、その後のフォトブックお披露目会にも参加させていただきました。このフォトブックは和歌山YMCAのリーダーが活動する様子を大変立派な冊子にしリーダー活動を広めていくツールに、また次世代のリーダー募集のツールとしても用いられる写真集です。各ページにはリーダーと参加する子どもたちの自然とわき上がってくる笑顔がいっぱいの写真がちりばめられています。このフォトブックは和歌山クラブと和歌山紀の川クラブのバックアップでまさにYMCA、ワイズメンズクラブ、そしてリーダーが一体となって作られた素晴らしい企画だと思いますし、他のYMCAでも作れば良いのと思う素晴らしいものでした。和歌山YMCA、和歌山クラブ、和歌山紀の川クラブの皆さまありがとうございました。

そして3月27日には「西日本区フォーラム」が開催されました。全員ZOOMでの参加で結果的には150名を上回る方の参加を得ることができました。元々、コロナ禍の困難な時に西日本区のメンバーが望んでいる顔を見ての交流これをどのように実施するかというスタートで、最後までうまくいかどうか不安がありましたが参加していただいた多くのメンバーの後押しが大きな力となり久しぶりに西日本区の楽しい交流を味わうことができました。参加していただいた皆さま本当にありがとうございました。

※今月の理事通信には別ページにIHQ(国際事務局)からの重要なお知らせ、
「BF一般補助金の案内」が載っています。必ずご一読ください。よろしく申し上げます。

■IHQ(国際事務局)からの重要な連絡事項

BF 一般補助金 (BF General Grant) 申請受け付け中 (申請期限: 5月1日)

新型コロナウイルス感染症の流行が続いていることから、2021-2022年度の「BF文化代表」(旧「BFフルグラント」)の募集は休止となりましたが、これに代わり「BF一般補助金 (BF General Grant)」の募集が行われています。

この補助金は、通常のBF応募基準を満たしているクラブ(前年度にクラブメンバーひとり当たり5スイスフラン(約600円)以上のBF献金を行ったクラブ)が、2021/22年に実施予定の活動で、BF方針(Brotherhood Fund Policy)(国際協会ウェブサイト参照)に掲載されている以下のBFの目的のうち少なくとも1つに明確に合致する活動に対して、財政支援を行うものです。

・検討対象となり得る活動

ークラブ間、会員間の親睦強化

ーYMCA/ワイズのパートナーシップの構築または強化

ー文化交流と理解の促進

ーユースの活動やプログラムの支援

ー適切な指導者養成のための支援

・1地域当たりの申請上限額: 2,000スイスフラン(申請および金額は、アジア太平洋地域の中で調整されます。)

・申請期限: 2021年5月1日

・審査結果: 2021年5月31日までに発表

補助金希望のクラブは、国際協会の下記のURLから申請をして下さい。

<https://form.jotformeu.com/ysmeninternational/bf-application-form>

なお、BF大会代表補助金(国際大会・地域大会)およびBFアンバサダー補助金(ワイズのない国や地域での新クラブの設立を支援する人材の派遣の補助)については、引き続き申請の受け付けが行われ、個別に審議されます。その他のBF補助金については、今後も変更なく運営されます。

■今月の聖句 2021年4月

ガリラヤ、デカポリス、エルサレム、ユダヤ、ヨルダン川の向こう側から、
大勢の群衆が来てイエスに従った。

マタイによる福音書 4章25節

聖書の小窓「ワイズのファンづくり」

子ども服メーカーの社長のエッセイを読みました。社員に「あなたのファンをつくりなさい」と言っているそうです。また「働く本人の自覚さえあれば、ノルマやマニュアルは不要です。サービス産業というのは人がすべてであり、人を管理するというのは不可能です」と書かれていました。

「大切なのは内面、つまり心です。せっかく子どもに関わる仕事をしているのだから、内面を大事にしたい。

『あなたのアドバイスをうけて買いたい』と言われる社員になればいいのです」と。

奉仕活動は「神様のサービス業」だと思えます。イエスはファンをたくさん持っておられました。私たちワイズも「あなたとつながってほしい」と言われる存在でありたい。「ワイズメンの奉仕を受けたい」と思われる活動をしたいです。とっておきの楽しいつながりと奉仕で。

日本福音ルーテル広島教会(松山教会兼務) 牧師:立野泰博

■YMCA報告

「YMCAエリアセーフティ」という考え方を導入しています。

3月21日に解除された、首都圏の緊急事態宣言解除では、各地のYMCAの春休みプログラムにも少なからずの影響は出ています。心理的なバリアができていとも言えます。

また、3月には、福島、宮城沖と2回の強い地震が発生しました。今後とも、発生する可能性があるという気象庁の発表に耳を傾け、しっかりと災害に備える日常を守っていきたくと考えています。この原稿が出されるときには発生していないことを祈るばかりです。

全国のYMCAでは、東日本地区、中日本地区、西日本地区というエリを定めて、「YMCAエリアセーフティ」という考え方を導入しています。また、「全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)」の加盟団体として、日常的な災害発生についても、多くの団体と、情報共有を進めています。全国のどこで災害が起こっても協働ができる仕組みです。

新型コロナ感染拡大も、大きな災害の一つかもしれませんが、地震、津波、台風、豪雨など、近年の災害の多発を考えると、枚挙にいとまがありません。

今まで以上に、YMCAをプラットフォームとした、災害支援ネットワークの活動は現実味を帯びてくる事実かもしれません。日常的には、私たちのYMCA、私たちのワイズメンズクラブは、事業を展開していても、いざという時には、アメンバーのように変化し、連携して強力な力を発揮できるような柔軟さと機動性も必要なのかもしれません。

2021年度(4月から2022年3月)は、これまでも増して、YMCAのスタッフである、ワイズメンズクラブ東西日本区担当主事の連携を強め、各区のワイズメンズクラブの皆様と、2022年のワイズ100周年、2023年の東西日本区25年と交流会なども契機としたつながりに関わりが持てれば幸いです。4月から、定期的な人事異動の時期ため一部担当主事が交代となりますが、引き続き、各区、各部、各クラブにおかれましては、パートナーシップの推進にご協力を賜れば幸いです。

日本 YMCA 同盟
担当主事 光永尚生(三島)

■西日本区フォーラム

3月27日(土) 1部: 午後3時~5時、 2部: 午後7時~8時

「今期は、多くのワイズメンが集まる機会が少なかったなあ。」「はなれていてもつながっている」とは言っても、「繋がっている証のようなものが欲しいなあ。」という声上がり、ZOOMを使って、「まずできることから始めてみよう!」ということで開催された西日本区フォーラムだった。ワイズ将来構想特別委員会の中で、プロジェクト担当となったのが、古田理事、新山次期理事、そして大野だった。

まず日程(3月27日:京都パレスクラブの周年例会が延期となったため空いた日)を決めた。そしてテーマ、ねらいを明確にし、報告者を各部にお願いすることになった。担当者がそれぞれ担当した部の部長にお願いした。

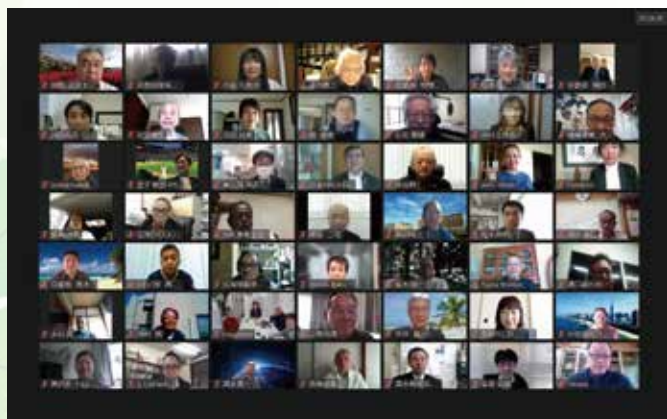
二つのねらい(①ワイズ100周年、西日本区25周年に向けて、メンバーの機運を高める。②各種の会が制限される中、多くのメンバーが顔を合わせる機会をもつ。)を意識しながらの開催だった。1部参加者140名、2部参加者80名。

ある程度ねらいは達成されたと思うが、参加者目標500名には到底及ばなかった。多くの参加こそが、機運を高め、西日本区新生ワイズ起こし運動の発展につながると思う。課題にチャレンジしながら次の開催をめざして前進していきたい。(これは個人の意見です。笑)

参加者の皆さんの忌憚のないご意見・感想をお待ちしています。

最後に、今回のオンラインでのフォーラムの成功の陰には、担当主事YMCA同盟光永氏の大いなる貢献とリハーサル経てZOOM操作に習熟した西日本区キャビネット(特に安井書記、河合次期書記)の貢献あった。本当に感謝です!

国際議員・アジア太平洋地域
次期会長 大野 勉 (神戸ポートクラブ)



■第32回 次期会長・主査研修会

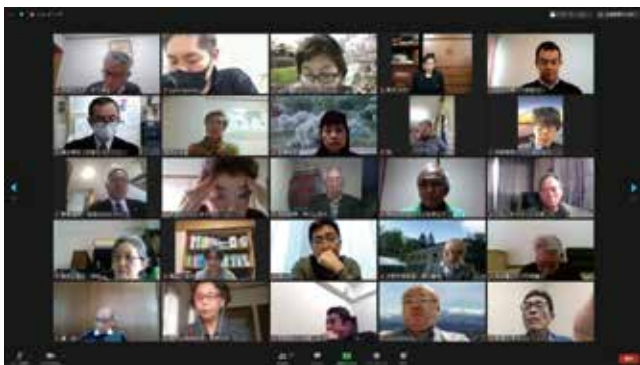
2021年3月6日(土) 13:00~18:30

大阪コロナホテル

2020年度次期会長・主査研修会が開催されました。

コロナ禍のなか、ハイブリッドにて単日開催となりましたが、次期への思いあふれる研修会でした。元京都部部長船木順司さんによる「リーダーシップはあなたの個性です」は次期会長・主査のみなさまの心に響く講演でした。





2020年度 次期会長・主査研修会 プログラム

2020年度 次期会長・主査研修会 プログラム (L=レクチャー D=ディスカッション)					
日時 2021年3月6日(土)		※状況により当日プログラムの一部変更の可能性もございます。ご了承ください。			
報告年度(LD委員) 正 村 純 予 藤 原 シ ャ ッ ト ー					
時間帯	プログラム	会場	担当	氏名(敬称略)	所属(クラブ)
12:00 ~	■開会式	別館200A	村 純	藤 原 純	知 友 部 ト ー ビ ー
	(1)開演直前				
	(2)ウイズンダ音場				
	(3)開演の祈り				
	(4)開演挨拶				
12:15	(5)よりエンターテイン	別館200A	クリスチャンティー 委員 田 口 美 名 吉 野	知 友 部 ト ー ビ ー	
12:15 ~	L1 基調講演	別館200A	大 塚 新 郎 副 会 長	大 塚 新 郎 副 会 長	知 友 部 ト ー ビ ー
12:55 ~	L2 「リーダーシップはあなたの個性です」	別館200A	村 純	藤 原 純	知 友 部 ト ー ビ ー
13:55 ~	L3 西日本区の現状報告及び取組の概要	別館200A	大 塚 新 郎 副 会 長	大 塚 新 郎 副 会 長	知 友 部 ト ー ビ ー
14:25 ~	休 憩 ・ 休 憩 ①				
14:25 ~	L3 新役員紹介&次期理事活動方針	別館200A	大 塚 新 郎 副 会 長	山 本 誠 司 副 会 長	知 友 部 ト ー ビ ー
	次期理事としての課題、活動方針、ゴール等について説明と次期役員との紹介。		大 塚 新 郎 副 会 長	山 本 誠 司 副 会 長	知 友 部 ト ー ビ ー
	L4 次期専業主任活動方針発表	別館200A	大 塚 新 郎 副 会 長	山 本 誠 司 副 会 長	知 友 部 ト ー ビ ー
	西日本区の各事業の説明をします。ワークブックを よく読んでおいてください(資料は、資料用紙に)		大 塚 新 郎 副 会 長	山 本 誠 司 副 会 長	知 友 部 ト ー ビ ー
15:50 ~	休 憩 ・ 休 憩 ②				
16:00 ~	L5 部長の責務-専業主任の責務	別館200A	大 塚 新 郎 副 会 長	山 本 誠 司 副 会 長	知 友 部 ト ー ビ ー
	L5 会長の責務	別館200A	大 塚 新 郎 副 会 長	山 本 誠 司 副 会 長	知 友 部 ト ー ビ ー
17:15 ~	休 憩 ・ 休 憩 ③				
17:25 ~	L8 ワイズ起こし運動	別館200A	大 塚 新 郎 副 会 長	山 本 誠 司 副 会 長	知 友 部 ト ー ビ ー
17:45 ~	L7 会長-事務手続き	別館200A	大 塚 新 郎 副 会 長	山 本 誠 司 副 会 長	知 友 部 ト ー ビ ー
18:00 ~	■アンケート作成	別館200A	大 塚 新 郎 副 会 長	山 本 誠 司 副 会 長	知 友 部 ト ー ビ ー
18:15 ~	■閉会式	別館200A	大 塚 新 郎 副 会 長	山 本 誠 司 副 会 長	知 友 部 ト ー ビ ー
	(1)閉演挨拶				
	(2)感謝				
	(3)閉演の祈り				
	(4)YMCAの教育場				
18:20 ~	(5)閉会直前	大 塚 新 郎 副 会 長	山 本 誠 司 副 会 長	知 友 部 ト ー ビ ー	

■新しい仲間をご紹介します

3/1 入会	林 慶一郎	京都トゥービークラブ	京都部
3/9 入会	神保 勝己	熊本ジェーンズクラブ	九州部
3/9 入会	原 晃	名古屋グランパスクラブ	中部
3/14入会	藤井 孝三	大阪センテニアルクラブ	中西部
3/24入会	小合瀬雅之	神戸ポートクラブ	六甲部

■4月の西日本区強調活動

YMCAサービス ASF

今期 YMCAと協働した活動を振り返り、
次期に継続できるクラブの支援をみんなで考えよう。

YMCAサービス・ユース事業主任
益国 隆人 (広島クラブ)

新型コロナウイルスの感染拡大により世界中が大混乱になってはや1年が過ぎました。ワイズの皆様にはご自身も不安と寂しさにかられるなか、各YMCAへ積極的に多大なるご支援を重ねられたことに謹んで感謝と敬意を表したいと思います。

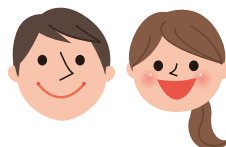
アルバイトがなくなり困窮する学生たちへの食糧支援や生活費支援、手作りマスクの寄贈や、YMCAの事業継続のためにオンライン授業設備や感染対策備品の購入費用のご寄付など、次々と寄せられるYMCA支援活動のご報告には強い感銘を受けました。また例年行われてきたYMCAとの協働活動や行事が次々と中止延期されていく中で、はじめのうちは例会などもすべて中止やむなしという空気でしたが、しだいにオンラインでの例会開催や各種懇談会も行われるようになり、いまではそのメリットを活かして新しいメンバー交流が積極的に行われるようになったのは「希望」だと感じています。

今年に入って京都部Yサ懇談会、九州部YYフォーラムが共にオンラインで開催され、部や各クラブのコロナ禍におけるYサ活動についてお話を聞かせていただける機会を得ました。制限の中にあっても以前とは形を変えてYMCAやユースを支援し続けておられ、アフターコロナにおいてもワイズのYMCAサービス・ユース事業は必ず続けていけると改めて確信できた次第です。

今期も残り3ヶ月となりました。次期そして今後に向けて、それぞれのクラブで活動や行事に新しい工夫を凝らされていることと存じます。まだしばらくコロナによる制限は続くでしょう。形式にとらわれず、YMCAやユースへの想いをどうつなぎ育てていくか、部やクラブの皆さんで話し合いお考えいただきたいと思います。

最後に、YMCAはワイズに何を求めているか、という問いに対してあるYMCAの職員の方の回答は「YMCAからは届かない人々へ、ワイズメンバーのネットワークでYMCAの想いを伝えてほしい」という内容のものでした。これは本質だなあと大変印象に残っています。確かにいまYMCA自身がYMCA活動を世間に伝え、共感の輪を拡げるには限りがあります。YMCAにベクトルを向けたひとつひとつのご支援も大切な活動です。それに加えて、逆にYMCAから社会に向けて発せられるベクトルを、さまざまな職種や地域にあるワイズのメンバーがそのコミュニティに最適化しながら増幅して拡げていくことも、もの凄く大きなYMCA支援になるということです。これからの行事や活動をお考えになるにあたって、ぜひ意識していただきたいと思い、お伝えいたします。

■NEWコンテンツ!!是非お読みください!!



ワイズで自慢したい! 教えたい!知ってもらいたい **わたしの横顔!**

理事通信では各事業役員会などの情報を毎月、西日本区のワイズのみなさんに発信してまいりましたが、今期は新型コロナウイルスの影響により交流にも制約がありワイズとのふれあいも少なくなり、ワイズの皆さんは西日本区、各部の役員の皆様のあたたか〜い人間的な横顔を知らないのでは??と考えました。そこで特別企画として、お堅い話は一切ナシ!役員の皆様の意外な一面をクローズアップして楽しく読んでいただけるコンテンツとして「わたしの横顔」を企画することに致しました。



ワイズの出会いに 私自身の変化

EMC 事業主任
竹園 憲二 (ZERO クラブ)

私はこれまでいろんな役職をいただく際に、その役職が今の自分に務めることができるのだろうか、と毎回引き受けてから考えています。

それは、自分の思うその役職に対するイメージと役職を務められた方々とのイメージが、私自身の中でかけ離れていたからです。

そういった中で、これまでは周りにおられる方々に迷惑をかけない、というその想いだけで任期を終えることができました。

そして、任期を終えるたびに、人に対して感謝することができるようになった自分がいました。と同時に人は1人では自分を変えることが大変難しいと毎回感じています。

ワイズメンのメンバーの皆さんには本当に感謝しております。

今後とも宜しく願いいたします。



マスクをされていてもわかる
変わらない素敵なお優しい笑顔の竹園主任

ワイズで自慢したい！
教えたい！知ってもらいたい

わたしの横顔！



Here I am

瀬戸山陰部 部長
長壽和子（岡山クラブ）

15年前に岡山市では「オレンジリボンキャンペーン実行委員会」を立ち上げ、児童虐待防止の象徴である「オレンジリボン」の啓発活動を始めました。その時から一昨年までの13年間、私は、実行委員長として活動に深く関わってきました。そして、オレンジリボンのことを知っていただくために児童虐待の現状などを岡山クラブで話しをさせていただいたことが、ワイズ入会のきっかけともなりました。



また、「キャンペーソングがあればいいね。」の私のひとことから巻き込んだ有名人は岡山出身の「中西圭三さん」。(なぜ中西さんをお願いすることになったのかは時間のある時お話ししましょう。)

オレンジリボンの趣旨を理解していただき、出来上がったのがキャンペーンソング「Here I am」です。優しい歌詞に力強い曲は、11月の「児童虐待防止推進月間」には市役所でも流れます。

中西圭三さんを始め、フォーラムにはいつも参加して下さった大森市長、養護施設・学校園の先生方、広報活動でお世話になったラジオ局の方々、ご寄付のお願いに伺った企業・団体のみなさま、駅前・街頭で配布した啓発グッズを受け取って下さった町行く人々、本当に多くの方々に関わり、繋がる事が出来ました。

子どもへの虐待はなかなかなくなりませんが、これからもオレンジリボンの思いは伝えていこうと思います。これは、わたしの横顔と言うよりライフワークです。

Here I am

(ここにいるよ) と・・・



オレンジリボンフォーラムでのワンシーン

ワイズで自慢したい！
教えたて！知ってもらいたて

わたしの横顔！



楽しくなければワイズじゃない！

京都部 部長
中村隆司 (ウェルクラブ)

西日本区の皆様こんにちは、今期張り切って京都部長を務めさせて頂いております京都ウェルクラブの中村隆司です、宜しくお願い致します！「わたしの横顔」と言う事なので自己紹介をさせて頂きます。1967年10月生まれの53歳、生まれも育ちも京都の桂という所で、現在も実家に嫁と母親と3人で暮らしております。近くに来られたら遊びに来て下さいね！小、中、高と少年時代は野球をやっておりました。そして寿司屋で働き板前をかじりながら毎日社会から脱線しそんな人生を送っておりましたが、その後は現在の建設業を営むようになり、日々解体工事や土木工事、外構工事等をさせて頂いております。

趣味はゴルフ、釣り、旅行、勿論美味しいお酒を飲む事と美味しい物を食べる事は外せませんよね！そしてここにワイズも入れておきますね、日々の生活の大部分をワイズに費や

していますからね！2005年6月に京都ウェルクラブにチャーターメンバーで入会し、今期で16年目となりますが、奉仕団体とは全く縁の無い人生を送ってましたのでワイズのワの字も知らなかったです。そして1年目からYサ委員長をさせて頂き、Yサ優秀クラブ賞を頂いた事がワイズに目覚める切っ掛けとなりました。一つの事業を皆で力をあわせてやり遂げる事や、私のような一メンバーでも平等に扱って頂き、頼りにして頂き、必要として頂き、信頼して頂ける事に感動し、最高の仲間と日々ワイズライフを謳歌しております！人生は一度しかないんです、皆さん楽しみましょうね！



いつも元気な中村部長



国際会長ニュース

命の川を信じよう

第10号 2021年4月



国際会長 ジェイコブ・クリステンセン

このニュースは、1年を通して、毎月の寄稿記事や最新状況の報告によって、YMI会員の皆さまに情報をお伝えするためのものです。このニュースをお受け取りになった際には、できるだけ多くの会員の皆さまに転送いただければ幸いです。メンバーは、何も受け取らないよりも、重複して2部を受け取る方が良いでしょう。

会員の皆さまへ

国際会長ニュース4月号へようこそ。今号では、「ロールバック・マラリア」(RBM)、「コミュニティサービス」(CS)、「Week4Waste」、「IHQからのニュース」と「良い話を伝えよう」を掲載しています。

ヨーロッパ地域では、他の地域と同様にワクチンの接種が開始されようとしています。北半球の春の訪れとともに、私たちは、より普通の生活ができることを楽しみにしています。デンマークで今使われている標語、「It will be good again(また良くなる)」に従いましょう。各区では、多くの活動、会合、研修が始まっています。その多くが顔を合わせて行われるようになってきたことを嬉しく思います。

現時点では、2020年7月1日以降、43の新クラブがチャーターされています。パンデミックにもかかわらず、本当に素晴らしく、価値のあることです。ワイズの友人を大切に、バーチャルや対面の集まり、クラブ、部、区、地域レベルでのさまざまな活動を大切にしている皆さんに、大きな感謝の気持ちを伝えたいと思います。皆さまは、まさに私たちに生命と明日への希望を与えてくれる存在です。命の川を信じましょう。

4月には多くのワイズメンが友人、ボーイスカウト、YMCA、コミュニティの他の組織の人たちと一緒にゴミ拾いをします。プロジェクトの目標は、世界中のワイズメンズクラブ合わせて150トンのゴミを集めることです。この目標を達成することができますか？皆さまのご協力に、母なる地球もきっと喜んでくれることでしょう。本号では、ウルリク・ラウリドセン委員長によるWeek4Wasteプロジェクトについて詳しく紹介されています。



ジェイコブ・クリステンセン
2020-21 国際会長

IHQからのニュース 2021年4月

私たちのクラブ、区、地域がパンデミックの状況もたらず課題を克服しつつあることを嬉しく思います。

韓国地域では、新型コロナウイルスのガイドラインに沿って、2021年3月4日から6日にかけて、次期理事研修と年央会議を対面で行いました。インド地域も、2月28日に地域議会を対面で開催しました。アジア太平洋地域では2月28日に、ヨーロッパ地域では3月13日にバーチャルで地域議会を開催しました。

クラブと区は、2021年3月31日までに後期分の国際会費を支払う必要があります。まだ送金されていない場合は、至急IHQに送金する必要があることにご留意ください。

TOFプロジェクト選考委員会は、7月中旬に開催される国際議会に推薦するために各申請書を審査します。

国際次期理事サミットは2021年5月29日～30日にバーチャルで開催され、すべての次期理事、次期地域会長に参加いただきます。

今年度の活動開始以来、43の新クラブを私たちの国際協会の家族の一員として迎え入れました。すべての新クラブは、国際協会のウェブサイトに掲載されています([新クラブ](#)を参照)。このリストには、ジンバブエのハラレにある新クラブも含まれており、アフリカのこの地域での私たちの存在感を復活させ、加盟国の総数は、72カ国となりました。

ワイズメンズクラブ国際協会の100周年記念基金は、大きな成功を収めていて、現在までに14名のメンバーが国際協会の名誉会員として表彰されていることを大変嬉しく思います。3ページの特集および[国際協会ウェブサイト](#)をご覧ください。

国際書記長 ジョース・ヴァルギース

ロールバック・マラリア(RBM)

- 4月強調月間テーマ

4月25日は世界マラリアデーです。この日は、マラリアの予防と制御のために継続的な投資と持続的な政治的な責任を果たしていくことが必要であることを強調する機会です。すべてのワイズメンズクラブメンバーは、マラリアそのものおよびワイズメンズクラブ国際協会が、マラリアに対する協調的な行動のための世界的な枠組みである、「世界エイズ・結核・マラリア対策基金」(略称:「グローバルファンド」)と「マラリアを終わらせるためのロールバックマラリアパートナーシップ」をパートナーとして、マラリアと闘っている取り組みについて、クラブメンバーや一般の人々の間での認識を高めるようお願いいたします。

マラリアは、感染したメスのハマダラ蚊に刺されることで人に感染する、寄生虫によって引き起こされる生命を脅かす病気です。マラリアは、予防と治療が可能な病気です。ワイズメンズクラブ国際協会は、2008年から、マラリアとの世界的な闘いを支援するため、募金活動や啓発活動を行っています。

2019年には、世界YMCA同盟とともに、マルチステークホルダー・パートナーシップを構築し、「グローバルファンド」を支援しています。資金提供先の一つには「マラリアを終わらせるためのロールバックマラリアパートナーシップ」があり、同パートナーシップの取り組みの約60%が「グローバルファンド」からの資金提供を受けています。英国政府の国際開発部門であるDFIDは、ダブルマッチング(寄付金額の2倍)の資金を提供し、マラリア対策のために約100万米ドルの資金を開放しています。2020年12月、ワイズメンズクラブ国際協会は、世界のマラリア対策を強化するため、「グローバルファンド」に10万米ドルを拠出することができました。

区やクラブがリーダーシップを発揮してRBM募金キャンペーンを推進していることは心強い限りです。私は、国際事業主任として、アメリカと台湾での募金活動に参加しました。また、RBMを推進するためのデイブ・ホールのサポートにも感謝しています。クラブや会員の皆さまにRBMへの寄付を奨励するため、国際協会では100米ドル以上の寄付をしていただいた方に、その善行を称える「功労賞」を授与しています。

国際協会のRBM募金活動をサポートする[ビデオ](#)が制作されましたので、ご覧ください。

クラブメンバーや友人の皆様には、クラブや区を通じたRBM基金へのご寄付をお願いいたします。また、個人の方で直接寄付をされたい方は、[オンライン寄付ポータル](#)をご利用ください。

トニー・リャオ RBM 国際/地域事業主任

Week4Waste

- 4月強調月間テーマ

Week4Waste とは？

世界中のクラブが、2021年4月18日から25日の週に、地元でゴミ拾いをするを提案しています。



1月号でご紹介したように、多くのワイズメンがすでにこれに積極的に取り組んでいます。すべてのクラブがこのプロジェクトの準備を整えていることを願っています。私たちがゴミを拾うことで、個人やグループで散歩中にゴミを拾うことがどれだけ意味のあることかを皆に示すことができます。クラブは、地元のYMCA、ボーイスカウト、学校、その他の組織に連絡を取り、この活動に参加してもらうのも良いアイデアです。このイベントを利用して宣伝を行い、ワイズメンのロゴがはっきりと表示された服を着て、地元のメディアに連絡して報道してもらいましょう。写真は、強力なメッセージです。

私たちは皆、自然、特に動物のことを気にかけています。ゴミがどんどん捨てられていく中で、動物、鳥、魚はプラスチックやその他の危険なものを食べています。

私たちの目標のひとつは、自然の中にゴミを捨てないことがどれほど意味のあることかを人々に示し、そうすることで年齢を問わず人々の意識を変えていくことです。

ワイズメンズクラブ国際協会の憲法では、私たちは「アクティブ・メンバー」であるとされており、人類史上最大のゴミに対する市民行動に参加するのは当然のことでしょう。4月には、国際協会で作成した黄色いベストを着た多くのメンバーが、街、公園、海岸、森でゴミを拾う姿を見られることを期待しています。2021年9月18日に設定されている「ワールドクリーンアップデー」を含め、今後何ヶ月も継続していくことを願っています。

デンマークのリンケベングのジェイコブ・クリステンセン国際会長は、72カ国1,500のクラブに所属する27,000人の会員がそれぞれ5~6kgのゴミを拾うことで、自然を汚染している15万kgのゴミを母なる地球から取り除くことができるという目標を掲げています。

より良い明日をご一緒に作りましょう。そして、この世界をより住みやすい場所にしましょう。

ウルリク・ラウリドセン
Week4Waste 委員会委員長



「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」



地域奉仕(CS)

地域社会に還元し、地域社会を強めることは、ワイズメンズクラブ国際協会所属のクラブの主要な目的です。定期的なボランティア活動や目標を定めた募金活動を通じて、私たちは、自分たちの地域だけでなく、世界中で前向きで持続可能な変化をもたらすことに参画します。

私たちは皆、全人類のために、より良い世界を発展させ、奨励し、提供するために共同で活動しているグローバルなワイズメンズクラブ国際協会ネットワークの一員であり、加盟クラブは、それぞれの地域社会のために積極的に前向きで持続可能な変化を希求します。

各クラブは、それぞれが奉仕する地域社会と同様にユニークであり、市民としての参加やコーディネートされた活動において独自のブランドを開発し、実践しています。IHQ のウェブサイトから抜粋したいくつかの例を以下に示します。



私たちのクラブの非公式なスローガンは
“Service in Action”（行動する奉仕）です。

この度、下記の方々が ワイズメンズクラブ国際協会の 100 周年記念基金にそれぞれ 2,500 ドルの寄付をしてくださり、ワイズメンズクラブ国際協会の名誉会員の資格を授与されることになりました。

1. ハンク・ワルサー：米国・サンタモニカ
(100 周年祝賀チーム委員長)
2. S・T・タウミアン：スリランカ
(元国際議員)
3. マメン・オーメン：インド・ケララ
(南西インド区理事)
4. L・スリンバサン：インド・ムンバイ
(ムンバイクラブ副会長)
5. フィリップス・K・チェリアン：インド・バンガロール
(国際会計)
6. エドワード・オン：シンガポール
(LTOD 国際事業主任、元地域会長)
7. 田中博之：日本・東京都
(ASF 国際事業主任、直前地域会長)
8. T・M・ジョース：インド・ケララ
(次期国際会計)
9. 世界 YMCA 同盟：スイス・ジュネーブ
(代表・世界 YMCA 同盟総主事)
10. バブ・オーメン：インド・バンガロール
(元地域書記)
11. アナンド・ジェイコブ・ベルギーヌス：インド・
チェンナイ
(次々期国際議員)
12. アニー・ジェイコブ：インド・チェンナイ
(地域メネットコーディネーター)
13. ジェニファー・ジョーンズ：オーストリア・
アデレード
(直前国際会長)
14. J・A・ジャヤラル：インド・マーサンダム
(南西インド区・第 3 部部长)

会員、友人、クラブの皆さまにおかれましては、ワイズメンズクラブ国際協会 100 周年記念基金への寄付と名誉会員になることをどうぞご検討ください。



名誉会員についての詳細は、
[ここをクリックしてください。](#)



ご存知ですか？

1 月の国際会長ニュースでご紹介いたしました「国際協会情報ナゲット」は、そのときには 20 個でした。今、IHQ のウェブサイトには、50 個の情報が掲載されていますので、ぜひご覧ください。これらは、国際協会の様々なことがらを素早く知るのに最適なツールです。

制作者のコシー・マシューと発行者のインド・バンガロール第 2 部に感謝いたします。

[ここをクリックしてご覧ください。](#)

Tell a Good Story.



助けるために全力を尽くして

新型コロナウイルスがラトビアや世界中で発生してから1年が経ちましたが、その戦いは、決して楽なものではありませんでした。そんな中でも、リバニラブダリバ・ワイズメンズクラブは、今日も活動を続けています。国の規制が厳しくなる一方なので、多くの重要なことができませんが、解決策や機会を探している私たちには希望が残っています。そして、それらを見つけられています。私たちの目標は、特定のグループの人々ではなく、特定の瞬間にそれを必要とするすべての人々を助け、世話をし、サポートすることです。私たちの仕事は、多岐にわたっていますが、その一例をご紹介しますと思います。



歩行用の松葉杖を私たちの倉庫に用意し、必要としている人に提供しています。家族や住民は、できれば短期間しか必要としないものにお金をかける必要がありません。また、医療機関と連携し、寝たきりの方などをサポートすることで、回復を促すことができます。病人が家の外に出て新鮮な空気を吸い、夕日を楽しみ、鳥のさえずりを聞くことができるように、必要とされていた車椅子を提供し、さらに3人の方々の生活が明るくなりました。

リバニ幼稚園を訪問し、さまざまなおもちゃを寄付して、子供たちの庭での日常生活を改善し、小さな子供たちの心に喜びを与えました。クラブにとって重要なプロジェクトは、成人になって孤児院を出なければなら

なくなった青年のためにアパートを用意することでした。



国や世界の現状の中で、私たちは積極的に活動を続け、ポジティブな姿勢を維持し、すぐにすべてが元通りになり、通常的生活リズムに戻れることを願っています。この1年は、決して楽なものではありませんでしたが、振り返ってみると、私たちは、誇りと満足を感じています。そして、より良い状況下では、さらに多くのことができるようになり、助けになり、役に立つことができると信じています。私たちは休むことなく、仕事を続け、「良いこと」を増やしていきます。

アイナ・ミラジェワ リバニラブダリバ・ワイズメンズクラブ会長

Tell a Good Story.



このスペースは、あなたが「良い話を伝える」ために用意されています。

これまでに、デンマーク、カナダ、インド、ロシア、トーゴ、日本、コンゴ、香港、

ブルガリア、ラトビアのストーリーを紹介してきました。

現在、ワイズメンズクラブ国際協会には72の国が参加しています。

成功した取り組みや「行動する奉仕」について、

多くの物語があるはずです。

必要なのは、英語で250から300語の言葉と、そのストーリーを説明するためのいくつかの写真です。

表現を磨いたり、文法を整えたりするのは編集者の仕事ですので、心配はいりません。

(日本の方は、日本語版編集者の田中博之(東京多摩みなみ)までご連絡ください。英訳もいたします。)

Tell a Good Story.



■周年例会情報

京都パレスワイズメンズクラブ 50周年記念例会のご案内

はじまりはYMCAから

Thanks! YMCA

2021年 5月23日(日)

登録受付 午後3時30分～

例会時間 午後4時30分～午後7時30分

会場:京都ホテルオークラ(京都市中京区河原町御池 電話075-211-5111)

<http://okura.kyotohotel.co.jp/>

例会費:10,000円(1名あたり)

お問合せ先 / 京都パレスクラブ 50周年記念例会実行委員長 小林千春

■西日本区大会情報

Let's do it now

2022に向けて誇りを持って

All is well.

2021年 6月5日(土)/6日(日)

ワイズメンズクラブ 国際協会

第24回西日本区大会

大会会場 / 懇親会 : ウェステイン都ホテル京都



■理事事務局から

各クラブ、各部などで西日本区内に広く周知したい情報等があれば、書記(安井) および理事事務局長(高倉) までお知らせください。

